

第8回 木アート祭

日時： 3月30日 11:00～夕暮れ

場所： 滋賀県彦根市尾末町1-59
護国神社境内

フリーマーケット、手作り作品、アートなビジネス仲間
おず皆の情報交換の場になるような、ゆたらしい
お祭りです。
★出店者さん募集中 出店料一組500円

17:00頃～MIROKUさんLIVE
(from 奈良、吉野) ¥1,000

ライブ後・・・

やっちゃん(土鍋かふえ楽ちゃん)による、六ヶ所村など
についての「六ヶ所トークライブ」も有!

「暮らしの根、ここに核がある」
※知ることの大切さ※

詳しくは <http://moku.hacca.jp>

電車でお越しの際は

JR琵琶湖線彦根駅下車 徒歩約10分

☎ 0749 (22) 0839



* 桶風呂入浴体験参加方法 *

○入浴体験するには

11:00～14:00の間で行います。当日、会場にお越し下さい。
参加無料・お申し込み不要です。

[持ち物] 水着・タオル ※簡易な更衣室を用意しています。(男女別)

○映像上映について

13:00～16:00の間で、約10分の映像を繰り返し上映します。



<http://gokan-seikatsu.jp/>

(当プロジェクトに関するお問い合わせ先)

特定非営利活動法人五環生活 〒522-0063 滋賀県彦根市中央町1-12 Tel&fax 0749-26-1463 Email mail@gokan-seikatsu.jp

おけぶろ “桶風呂”とは?

桶風呂は、滋賀で昭和20～30年代頃まで使われていました。かまどで、少量の湯を沸かし、桶に笠や蓋をして蒸気で風呂桶内を温める、半蒸半湯浴のお風呂です。水や燃料を節約し肥料も生産できる「環境にやさしい」お風呂であるとともに、特に側面に扉のつく桶風呂は、滋賀を中心に使われていました。

近江の“桶風呂”は、その形状のユニークさにおいて獨創性が高く、使い方において環境性能にすぐれた、まさに滋賀が世界に誇るべき生活文化であり、後世に受け継がれていくべきものと私たちは考えます。

近江の桶風呂再生プロジェクトについて

現在残っている桶風呂はごく少数で、桶風呂を作ることの出来る桶職人はごくわずかです。たいへんユニークで貴重な文化でありながら、あと10年もすれば消滅してしまいかねません。そこで、当プロジェクトでは、NPO、学生団体、桶風呂研究者、大学研究室でチームをつくり、この桶風呂の再生に取り組んできました。81歳になる元桶職人さんをはじめ多くの方々にご協力いただき、約40年ぶりに新しい桶風呂が完成しました。また、その制作過程を記録映像として1本のDVDにまとめました。

今後は、この桶風呂をつかった入浴体験や記録映像の上映を行い、「桶風呂文化をいまの暮らしに活かす」ための取り組みを進めていきます。